

## 会 議 録

|     |                                                                            |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|
| 件 名 | 未就学児保護者説明会・意見交換会（第1回）                                                      |
| 日 時 | 令和6年7月27日（土）午後2時から午後4時まで                                                   |
| 場 所 | 保健福祉センター 3階 大ホール                                                           |
| 参加者 | 保護者31名<br>今田教育長、岡教育部長、阪口参事、丸山教育総務課長、大谷学校教育課長<br>吉田教育委員、簗下教育委員、東学校再編推進係長、東川 |

今田教育長挨拶、東学校再編推進係長から資料説明の後、質疑応答、意見交換になりました。なお、出席した保護者には、説明会終了後、意見等を記入できる用紙を配布しました。

本説明で出された意見等は、以下のとおりです。

1－1. 今回、この説明会では統廃合についてのメリット及び留意点の説明をしていただいたかと思うんですが、これまでに橋本中央中学校の方で、すでに統廃合がされたということで、そちらの方で、実際に上がってきたデメリットをご説明いただければと思います。（教育委員会）

ただいまのご質問にお答えさせていただきます。平成28年に橋本中学校、学文路中学校、西部中学校の3校が今の橋本中央中学校の場所に1つに統合をされました。この統合が決定したのが平成26年の6月ごろでした。それを受けまして、その時に対象となる西部小学校、清水小学校、学文路小学校、橋本小学校の5年生6年生の児童さんと、3つの中学校の1年生の生徒さんが、統合時に1つの中学校の1年2年3年生になることになりました。それで、各学校で対象となる児童生徒さんに、自由形式でアンケートを当時取っています。その中で、子供たちからいただいた意見というのを、教育委員会それから学校で集約した中で、どんなふうに統合までを過ごしていくのかというようなことを行なっています。その子供たちのアンケートの内容なんですが、特に、小学校の子供さんにとってみると、現状の中学校へ行くと1クラスの学級になっていきますので、それが統合されると2学級、3学級の中学校になっていくということで、やはり友達関係のところ、新しい友達がたくさんできるかなというワクワク感というか、そういうのもあったんですが、やはりどちらかといえば心配の方が多かったです。新しい友達ができるかな。もしかしていじめられないかな。やっぱりそういうふうな不安というのが、小学校の子供さんには結構多かったです。それから、中学校1年生の生徒さんにつきましては、どうしても学年1クラスの中学校でしたので、部活動とかに制約がありました。そういう中でいけば、1学年3クラスの中学校になっていくと、自分のやりたい部活動を選べるのができたりとか、そういうちょっとした楽しみというんですかね。そういう部分というのは、子供さんの中にありました。で、そういう

子供さんの不安であったり、心配であったりっていうのを、どんなふうに取り除いていくかというところで、やはり一番ご苦勞をかけたのが、当時の小学校の先生方が子供さんに説明をしていただいたり、また保護者の皆さんにも不安というのがありますので、保護者の皆さんに説明をしていったりということがございました。また、とある学校では、保護者の中だけで、そういうアンケートをとって、話し合いをされたというのも聞いております。

実際に中学校に行ってからというところになってくると、その中学校においては、学級づくり、仲間づくりというところが、やはり一番苦勞はされたというふうに聞いています。ただ、人数が増えることとか、クラス数が増えることで、活発になっていくというか、子供たちの学習活動とかが活発になっていったというようなことは言われておりましたが、やはり最初の頃は、相当、事前の交流とかも含めてやってはいましたけれど、苦勞をおかけしているというのがありました。そして、地域との繋がりはどうなったのかというところで言いますと、やはり中学校がその地域からなくなりましたので、距離が遠くなるということで、学校とは遠のいたかなというのは、地域の方から直接そういう感想を聞いています。当時の状況というのはそういう状況でございました。

**1—2. ありがとうございます。実際ですけど、いじめが増えたり、不登校者数が増えたなど、そういったことはわからないでしょうか。**

(教育委員会)

手元には、そのような数字はないんですけど、やはり人間関係ということで、いろんな子供たちが増えると、仲良くなったり、そうでなかったりということが生じてきます。ただ、先ほどの説明にもありましたが、中学校の先生方の仲間づくりというところで、本当に子供たちの様子を見ながら関わってくれていたというのは事実です。実際、増えたという数字につままして把握はしていません。当時から、今もそうなんですけれども、いじめに関しては、未然防止、早期発見、早期対応というのを心がけていますので、今後もそれを続けていきたいと考えています。

これは私的なことで申し訳ないのですが、実際、息子がちょうどこの中央中学の1年生で入学する生徒だったんですが、その時には確かに友達がいっぱいできるかなというのは、小学校1年生の子供たちと同じような心境で、不安でいっぱいだったんですが、学校へ行くと、先生方が本当に学級作りに配慮していただいて、みんな楽しく過ごしながら登校していたというのを記憶しています。また通学距離が長くなりますので、入学する前の春休みに、いわゆるパパ友同士で子供たちを連れて、一緒に歩いて自転車で中学校まで行き通学路を確かめたり、そんなことをして親同士も繋がって、子供たちが元気に行けるようにと関わったことを思い出しました。やはり子供たちの人間関係を構築する上では、保護者の皆さんの繋がりも非常に大事なので、そのあたりをきちっと心がけていただけたらというふうなことを考えています。

もしも、万が一このような中で子供たちがつらい思いをするようなことがありましたら、

すぐに協力をして、この解決に向けて取り組んでいけるようにと思っていますので、そのあたりはご理解いただけたらと思います。

2-1. 説明いただいた分の、25 ページの学校再編基本方針の部分であった説明について、質問させていただきたいと思います。清水小学校区の在住ですけれども、説明の中で、文面で書いてあるのは、学文路小学校と清水小学校の統合をまず検討するというような説明で、その過程で学文路・清水・橋本を先に合併するというようなことも検討された、というような説明があったのですが、その時に学校と地域コミュニティとの繋がりを考慮し、一旦、学文路小と清水小の合併を進めるというような説明があったかと思います。令和 11 年の児童数の推移ということで 14 ページに令和 11 年度の学文路小と清水小の人数、記載されていると思うのですが、2つの学校足しても 100 名程度にしかないかと思います。この 100 名は、橋本小学校にはキャパ的に入るのか入らないのかというのを確認したいのと、あと、この 25 ページで説明があった部分で、清水小と学文路小が合併した後、10 年経過後にまた人数が減っていれば、合併を検討するというような話があったかと思うのですが、もっと子供が減ってくることも考えられると思います。10 年以内に急激に人数が減ってしまった場合、早く合併をするというのも、考えることがあるのかなと思うのですが、その場合、小学校の内で 2 回、再編を経験する子供が出てくるというのは考えられますか。

(教育委員会)

この令和 11 年の時点で、清水小学校と学文路小学校の児童さんが橋本小学校に移ったときのキャパ的なことについてですが、児童数というよりも、教室数、クラス数でいきますと、キャパシティとしては、少し足りない状況です。普通学級と特別支援学校が必要となりますので、現状で申し上げますと、キャパについては余裕がありません。それから、学文路小と清水小を学校再編して、急激に子供の数が減って、前倒しになったときのことなんですけど、今、お父さんがおっしゃられたことは、先に行わせてもらった保護者説明会でも、子供さんが在学中に 2 回、統合・再編を経験するのは非常に負担がかかりすぎるということでご意見をいただいているのですが、私どもとしては、同じ 1 年生から 6 年生の中で 2 回というのは考えていません。最低でもやはり 5 年間は開けないと子供さんに負担がかかりすぎるというのはあるんですけれど、いろんなご意見、今回いただいています。現段階は、この方針を出させてもらっているのですが、今日もいただくかもわかりませんが、ご意見をいただいた上で、教育委員会の中で協議しているところです。

補足します。今、子供さんが 2 度やはり経験するのはすごく負担になるということで、小学校の保護者の方からご意見をいただいています。それは我々も本当にそう感じています。ただ、保護者も 2 度経験することになるかもわからない。子供は 1 度かもわからないけれども、保護者が 2 度経験する。これもものすごく負担になるんだというご意見をいただいています。教育委員会としては、そういうご意見をいただいていますので、そういうことも含めて、今後協議を進めていきたいと考えています。

2-2. もう1点なんですけども、今もお話あったと思うのですが、20ページで橋本市教育委員会が考える望ましい学校規模というところで、小学校1学年2学級以上が望ましいと考えられている、ということなんですけども、この基本方針を満たしている、というふうに考えているのですか。

(教育委員会)

望ましいということで、実際、例えば清水小学校と学文路小学校のお子さんを再編したとしても2クラスにならないじゃないかという話があるかと思うのですが、全ての学校再編をしても2クラスにならない学年はあります。ただ、望ましいということで、子供たちの数が、クラスが多くなることによって、いろんな子供たちと触れ合うことや、意見、情報交換、学習ができることによって、子供たちの学習環境を今よりも良い方向に持っていけないかということで考えています。

2-3. ありがとうございます。合併は仕方ない、再編は仕方ないこととは考えているのですが、やはり、再編したのに、体育の授業でサッカーであるとか、そんな2、3人、5人程度で経験できないというようなのは、何のために再編したのかなというふうに正直思います。地域との繋がりとかいうような地域コミュニティとの繋がりを考慮し、というような話もあったかと思うのですが、地域の声を聞いた上で考慮しているのかどうかと言うのもちょっと、どうかと思う部分もありますし、実際子供のことを考えた上で、最終的にこうしますというのをを出していただければとてもありがたいと思います。

(教育委員会)

今日は未就学の保護者さんを対象にさせてもらっているのですが、学校再編の対象の地域の方にも説明会と意見交換会をさせてもらっています。説明内容はほぼ一緒なんですけれど、意見交換でやはり地域コミュニティに携わっていただいた方、今まで学校にお世話くださった方からの声もたくさんいただいていますので、再編を進めていく上で、そういった部分はやっぱり、大事なところは検証していくようにと考えているところです。

3. 統合した場合の詳しい校区というのは教えてもらえるんですか。例えば、境原小と城山小が統合されたときに、現在の境原小の校区の方が全て城山小学校に行くのか、清水小学校と学文路小学校が統合された場合、清水小学校の全ての校区の方が学文路小学校に行くのかとかあると思うんですけど、それだと、すごい距離になったりするじゃないですか。例えば、清水小学校の方は橋本小学校へ行く方が近いとか、そういう可能性とかあると思うんですけど、その辺の詳しい校区を教えてくださいませんか。

(教育委員会)

今のご質問ですけれども、今の段階で基本的には、今の校区、統合先の学校に行くという形になるのが基本になります。ただ、いろいろご意見いただいている中で、例えば、境原小の一部の中で隅田小にとか、清水小の中で橋本小とか、というご意見もいろいろありますの

で、それは内部でも検討しているところです。

補足になるんですけれども、校区といいますのは、学校教育法施行令という法律の中で定められています。その定め方は、市町村が校区を指定します。そして、保護者の皆さんは、その指定された学校に子供さんを通わせるという義務があるということになっています。現時点では、従来どおりのそれぞれの校区で、それぞれの学校に進んでいただくということになっています。ただし、今、出しているこの方針といいますのは、教育委員会が定めた案ということで、方針というのは案だと考えていただけたらわかりやすいかと思うんですが、その中で、皆さんのご意見もちょうだいした上で、検討している最中ですので、本日もこのようなご意見がありましたら、教えていただけたら大変ありがたいと思っています。

4. 紀見ヶ丘に住んでいます。三石小学校までの距離が、紀見ヶ丘に住んでいる子供で、紀見ヶ丘の手前の方は2キロを超えてなくて、1.9キロぐらいですけど距離がちょうど。紀見ヶ丘の奥の方の子は2キロ超えているのでバスが出る。紀見ヶ丘の手前の方の子は、2キロ超えてないからバスに乗れません。保護者の方で送ってくださいとかになると、ちょっと気になっていました。

(教育委員会)

資料の24ページに2キロ程度と書かせていただいているのですが、例えば同じ紀見ヶ丘で、距離の差というのがあるかと思います。その中で、手前の距離が足りないから送ってください、奥の方は遠いから乗ってくださいというのも、ちょっと不公平とになりますので、基本的に2キロ程度としています。同じ区・自治会は、同じような扱いをさせていただきたいと考えているところです。

(保護者)

安心しました、ありがとうございます。

5-1. これはちょっと確認ですが、今回は未就学児の保護者説明ということで小学校だけの案を提示されていて、中学校は検討しているけど、まだ案としては完成してないのか、それとも、再度10年後の話だから、今回はその話がなかったことになっているのか。どちらなのでしょう。

(教育委員会)

今回の2期方針では、小学校のみの方針でございまして、中学校についての統合は検討してございません。ただ長期的には4校という構想は残っているのですが、そこは生徒数の急激な変化があった場合に検討するというので、それは残っています。今回の2期方針については検討していないということでご理解いただきたいと思います。

5-2. この10年後の再検討の際に、その中学校の時も参加せなあかんのかなというのが、あるわけです。このグラフ見たら、多分10年後の中学校は、この基本方針から多分外れて

くる形になる推移になっているということです。この推移ですけれども、これは今の子供の人数から計算して出したようなもので、途中、何らかの要因で増えてくるようなことは基本考えられないということではよろしいでしょうか。

（教育委員会）

これはあくまで、推移は出生数で、今その地域で生まれた方が、そのままその地域の学校に行っていただくということで算出していまして、転出入は今のところ反映できておりません。

6. 何度も申し訳ございません。先ほど、橋本小学校の教室的に足りないという話があったかと思うのですが、今現在、入るキャパがないということですが、実際に再編を進めていく中で、教室数を増やす等の工事とか必要だと思うのですが、また、こういった同じような基本方針を出して、決まってから工事をして、部屋を増やしてとかいうようなことになると、結構、タイムラグとかもあったりすると思うんです。そうなれば、今、仮設の校舎とか建てても10年後でも同じことなのかなと思ってしまいうんですが、そういったのはやっぱり準備した上で、再編というような形になるんですか。

（教育委員会）

再編を進める上で、当然その受け皿になるところの施設整備というのが必要になってきますので、それがないまま再編するというのはなかなかできないかと思います。そういったことも同時に進めながらやっていきたいと思っているんですが、やはり、どうしても整備とかになりますと時間もかかりますので、そこは同時並行で進めていきたいと思っていますところでは。

説明会に出席していただいた保護者の皆様から意見書に記入いただいた意見です。

7. 今回、出生数による子供数の減少を元に、推移を示してくださったと聞きました。三石小の校区は、できて30年～40年の住宅が多く、ほとんどの土地が埋まり、新しく入居してくることによる転入の人数増加は見込めていなかったかと思います。しかし、この40年経った現在、住んでおられた方々が抜けていき、中古物件や立て直しによって、転入による子供の数が増加していく事も見込めるのではないのでしょうか。実際のデータを基にした考えではないかと思いますが、状況が近い地域の例をもとに、考えの一つに入れていただきたいです。

8. 統合による通学の距離、時間共に長くなるので、道の安全はもちろんのこと、季節で暑かったり寒かったりで子供に何かないように徹底して欲しい。スクールバスでも、中に置き去り等のニュースも見するため。

9. 生徒数の推移をみると、橋本中央中学校区の小学校は最終的に全て橋本小学校1つに統合されることはまぬがれない状況であると思うのですが、現在、学文路小学校より橋本小学校に近い場所に住んでいる身としては、校区関係なく、橋本小学校に通学させたいと思っています。ですので、統合後の校区の案を考え直していただきたいです。

10. 説明会の中で、統合後の校区は現在の校区であるとの説明があった。現在、紀ノ光台に住んでいるが、城山小学校までかなりの距離がある。また、紀ノ光台は子供の人口が増えている地域であり、統合後の通学がスクールバスになったとして、十分な台数が確保されるのか不安がある。統合後に子供たちの通学にストレスがかからないように、十分に配慮頂きたいと思います。

11. 高野口中学校の老朽化について心配しております。現在、在学中の子供を持つ保護者からは「耐震性」「トイレの老朽化」「通学路の安全性」など、不安の声を多く聞きます。いつ頃までに改善される予定があれば知りたいです。

12. スクールバスの運行は行き・帰りとも1本になりますか？子供なので準備に時間がかかるので複数本あれば助かります。スクールバスは、その地区に子供が1人になっても来てくれますか。合併して使わなくなった学校は、今後、地域のために使ったりするのか、壊してしまうのか等の計画が知りたいです。

13. 授業スタイルが多様化について、少人数の分が意見をすくいやすいと思われま。学力についても、少人数の方が子供たちにとっては身につけやすいと思います。多いより少

ない方が、それぞれ意見が言いやすいのではないかと考えます。小学校の学区の再編について、歩いて通う良さもあるので、距離が遠くなるのは心配。

14. 今通っているこども園は三石なので、お友達の多くが三石小学校に行く中、統合まで別々の小学校に行き、難しい年齢になる中、高学年で統合する中で心配があります。入学～統合まで年に数回でも交流があればいいなと思います。

15. グループワークや交流学習が必要になってくる中、一学年2クラスだけでなく、通学バスを利用して他校との交流も検討していただければと感じました。統合が必要、不必要と色々な意見もあるかと思いますが、決定した内容をより良く進めていただければと思います。ありがとうございました。